



2024. 02

漢方医学センター
センター長・教授
及川 哲郎

痔について

排便時に切れて痛む、出血が多い・痔に困っている“痔主”の方は少なくないと思います。痔疾患には痔核、裂肛、痔瘻などがあり、いずれも漢方医学では瘀血（おけつ）つまり血流障害が絡んでいると考えます。治療としては、西洋医学的には消炎・鎮痛作用のある薬を座薬や軟膏のかたちで治療に用い、程度がひどければ手術も考慮することになります。漢方薬でも痔に使うものがいくつかあります。ただ漢方薬を処方する前に、まず患者さんの生活の様子をよく聞くようにしています。例えば痔と関連が深い便秘があるなら便通をよくする、いきみ癖があるなら排便時にいきまないようお話しします。事務職など長時間の座業や車の運転をする仕事であれば、ときどき中断・休憩して運動をすることも大切です。過度のアルコールなどを控える、肛門部を冷やさないことなども重要なポイントです。このような漢方医学の養生すなわち生活全般の注意点は、意外と見過ごされることが多いようです。

痔の漢方薬としては、まず桂枝茯苓丸が挙げられます。瘀血つまり血行不良に対する代表的な処方です。局所のうっ血が強いときは瘀血と考えますので用いる機会が多くなります。乙字湯も有用です。さまざまな薬効の生薬が入っており、痔の炎症を抑え、出血を改善し、便秘や脱肛にも効果があります。私は便秘を伴う場合は第一選択としています。補中益気湯は倦怠感や食欲不振などによく用いられる処方ですが、痔にも適応があります。主に虚証の痔疾患に対して用いられ、特に脱肛を伴う場合により適応となります。あと、紫雲膏という軟膏もぜひ覚えておいていただきたい処方です。漢方薬のなかでは数少ない外用薬であり、痔に限らず傷の修復や血行改善を促す作用があります。ですのでやけどやしもやけにも頻用されます。乾燥した皮膚をしっとりさせる作用もあり、例えばかかたのごわごわした部位に塗っておくとツルツルになります。ただし、紫雲膏には独特の赤い色と抽出に用いるゴマ油の香りがあり、西洋医学のステロイド軟膏のような無色透明・無臭のイメージとはかなり異なります。使用感の問題もあるため、そこは好みが分かれるところです。

痔の漢方治療は西洋医薬と併用しても効果が増しますので、困っていらっしゃる方は一度お試しください。